



甲斐市議会だより

2025.4.25 No.83

がいぎかた

令和7年4月25日発行



議会活動をわかりやすくお伝えします

今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和7年 第1回臨時会・定例会	4ページ
市長施政方針	5ページ
こんなことが決まりました	5ページ
当初予算関係	7ページ
どう使う？新年度予算	8ページ
ここが聞きたい 一般質問	9ページ
委員会行政視察研修報告	14ページ



写真提供：保護猫ネットワークねこねっこ

緑と活力あふれる生活快適都市

特集

輝く仲間たち (第21回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。
今回は、「ねこねっこ」です。

猫たちの幸せを願って ～過酷な環境の猫たちを救いたい～ 「保護猫ネットワークねこねっこ」



Q. ねこねっこが活動をするきっかけは？

猫の幸せを願い、過酷な環境の猫たちを救いたいという思いを持った猫好きが集まり、2024年7月に「保護猫ネットワークねこねっこ」を立ち上げました。



お話を伺った
木村さんとお
子さんたち、
渡辺さん



「ねこねっこ」名前とロゴマークに込めた思い

Q. どのような活動をしていますか？

外で生きていくことが難しい猫たちを保護し、里親さんへ譲渡をします。病気がある場合は治療し、愛情をかけて人のやさしさを伝え、猫を家族の一員として迎えて幸せに暮らしてもらうためのお手伝いをしています。「にゃんこに幸せ、こいこい」という思いを込めてチャリティーイベント「こいにゃんマルシェ」を開催し、楽しく啓発活動をしながら命の尊さを発信しています。



Q. ねこねっこが目指すものは？

「保護猫ネットワークねこねっこ」は、猫が快適で安全な環境の中で人と共生できる社会を目指します。地域で暮らす猫にしっかりご飯を与えることでゴミを漁ることが無くなり、不妊手術をしてあげることで野良猫が増えることを止めることが出来ます。多くの地域住民が世



話をする地域猫は殺処分や虐待から守ることに繋がります。その中で地域に戻れない猫たちの新しい家族を探す活動をし、「殺処分ゼロ、虐待・遺棄ゼロ」を目指します。



Q. 市民にアピールしたいことはありますか？

市民の方にも地域猫に対するご理解を深めてもらいたいと思います。猫は繁殖力が強く、1年で20頭以上、2年で80頭以上に増える可能性があります。子供を地域の皆で育てるように、地域問題として不妊手術を施し、地域猫として一代限りの命を、ボランティアさんとともに世話してくれる地域の方が増えていくことを望みます。



Q. 行政へのご意見・要望がありましたらお聞かせ下さい。

行政からも殺処分ゼロ、動物虐待ゼロへの働きかけを行ってほしいです。また、猫の保護にはお世話をする場所が必要です。多頭飼育崩壊現場へ立ち入り救済後の保護、TNR 活動中の保護、譲渡会等、ケージを多く使いたいときに無料貸し出しがあるととても助かります。

また、譲渡会会場の提供や、市役所庁舎内に里親募集掲示板の設置、保護猫団体、個人ボランティアの活動告知などへの協力をして頂ければと思います。よろしく申し上げます。



3/30に開催した保護猫里親募集会「プチこいにゃんマルシェ」

「ねこねっこ」をもっと知りたい方はこちらから

公式LINE



Instagram



HP



にゃんこに恋するわたしたちで幸せを運ぼう！

第2回 **チャリティーイベント**

こいにゃんマルシェ

にゃんこに幸せこいこい

5月18日(日) 10:00~15:00

詳しくは左記QRコードをご覧ください。

令和7年 第1回臨時会

臨時会の あらまし

第1回臨時会は、2月3日の1日間の会期で開かれ、市長から報告案件および補正予算など2議案が提出されました。今臨時会の一般会計補正予算は、4億6,782万9千円の増額となり、「物価高騰対策事業」に係る予算で、全て原案のとおり承認されました。

令和7年 第1回定例会

定例会の あらまし

第1回定例会は、2月27日から3月19日の21日間の会期で開かれ、市長から補正予算および条例の制定など36議案が提出されました。今定例会の一般会計の補正予算額は9億626万3千円で、主な内容は、自立支援給付事業の利用者増加や屋内運動場空調設備整備に係る増額などで、すべて原案のとおり可決されました。

人権擁護委員候補者

任期満了（令和7年9月30日）に伴い、次の方の推薦に対し、同意しました。（※敬称略）

●内松太一

恩賜林議会議員

任期満了（令和7年3月31日）に伴い、議長の指名推選により次の方々が当選されました。（※敬称略）

●大明神山恩賜県有財産保護組合議会

・保延 昇 ・増尾行廣 ・田中正司 ・山口正博 ・瀧口晴彦 ・岡田清和 ・飯沼 覚 ・小田切勝
・飯室正信 ・青柳 潤 ・大久保重行 ・長田 昇 ・長坂昌司 ・豊田泰長 ・小尾辰己 ・花田茂美

●大阪外三山恩賜県有財産保護組合議会

・長田末男 ・小林和雄 ・長田裕二 ・横山 聡 ・雨宮和彦 ・小宮山賢太郎 ・三井良広 ・小林一彦
・近藤敬司 ・吉村公一 ・赤澤千秋 ・長谷部集 ・猪股兼幸 ・飯室治重 ・有泉庸一郎 ・柳本 胖
・高山昭一 ・保坂 康

●柿坂外四山恩賜県有財産保護組合議会

・小田切和通 ・高橋文夫 ・長沼詔三 ・山本善彦

●奥野山恩賜県有財産保護組合議会

・保延 壽 ・保延 健 ・飯塚文明 ・長坂正時 ・柳本哲男 ・柳本茂樹

甲斐市議会だより（かいギカイ）では、第1回臨時会及び第1回定例会の主な内容をピックアップして、掲載しています。また、議会ホームページで録画映像を配信していますのでこちらもぜひご視聴ください。



市長施政方針

本年度策定に取り組んできた「第3次甲斐市総合計画（前期基本計画）」と「第3次創甲斐教育推進大綱」が新たにスタートいたします。「第3次甲斐市総合計画（前期基本計画）」につきましては、本市の市政運営の総合的な指針であり、まちづくりを推進する上で最も重要な計画であります。前計画から継承しながら、引き続き、「まちづくりは人づくり、生涯にわたる、学びのまち」、「健やかで、心ふれあう安心に暮らせるまち」、「美しい景観と、快適で安全な都市機能を築くまち」、「自然と生活が調和した環境を築くまち」、「交流と協働による、未来を拓く活力のあふれるまち」の5つの基本目標を掲げたところであります。

令和7年度の予算編成にあたりましては、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に、本市が将来像として「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、施策の選択と集中を図ったところであります。



第1回臨時会・定例会において 甲斐市のこんなことが決まりました 主な内容をピックアップしてお知らせします

物価高騰対策事業

議案第1号 令和6年度甲斐市一般会計補正予算（第7号）

国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策が閣議決定され、低所得者世帯支援枠による給付金、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するために物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加が盛り込まれました。本市も交付金を活用し以下のとおり支援を行います。

●物価高支援給付金

①住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり3万円支給します。

※詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。▶



②住民税非課税の子育て世帯に対し、児童1人あたり2万円の加算給付金を支給します

※詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。▶



●事業者・生活者支援

市民及び市内事業者を支援するため、市民に対してプレミアム付デジタル商品券を販売し、消費喚起を行います。

甲斐市北部地域に光回線を整備

議案第2号 辺地に係る総合整備計画の承認を求める件

光回線による通信網が行き届いていない甲斐市北部地域において、必要な情報を公平かつ安定的に取得できる環境を構築するため、福沢辺地に係る総合整備計画において、甲斐市北部地域情報インフラ整備事業を実施します。

- 対象地区 前屋、下福沢、上福沢、神戸、下芦沢、本村、小川、平見城。大明神の9自治会
- 整備期間 令和7年度の1年間

広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業

議案第36号 令和6年度甲斐市一般会計補正予算第10号

道路維持管理業務の高度化に向けた共同研究を実施するとともに、今後の地域社会の活性化や持続的な発展、レジリエンスの向上を目指すことを目的として、株式会社NTT東日本山梨支店、株式会社NTTMEとの間で、包括連携協定を締結しました。広域連携による市町村事務の共同実施モデル構築事業に提案したところ、全国で本市を含む、7市が採択されました。内容はドライブレコーダー等により撮影された、道路画像をAIの技術を活用し、今後の道路改修や補修などのインフラマネジメントに活用するためのデータベースの構築等を目的に事業を実施します。



勸進橋災害復旧工事

議案第37号 勸進橋災害復旧工事（明許）請負契約締結の件

令和6年8月7日の豪雨災害により、大下条地内の勸進橋は現在車両通行止めとなっておりますが、次のとおり工事請負業者が決定しました。

工 事 名	勸進橋災害復旧工事（明許）
契 約 先	新光土木・三澤工業勸進橋災害復旧工事（明許）共同企業体
契 約 金 額	1億7,105万円
工 事 期 間	令和7年3月20日から令和8年3月12日まで

請願結果

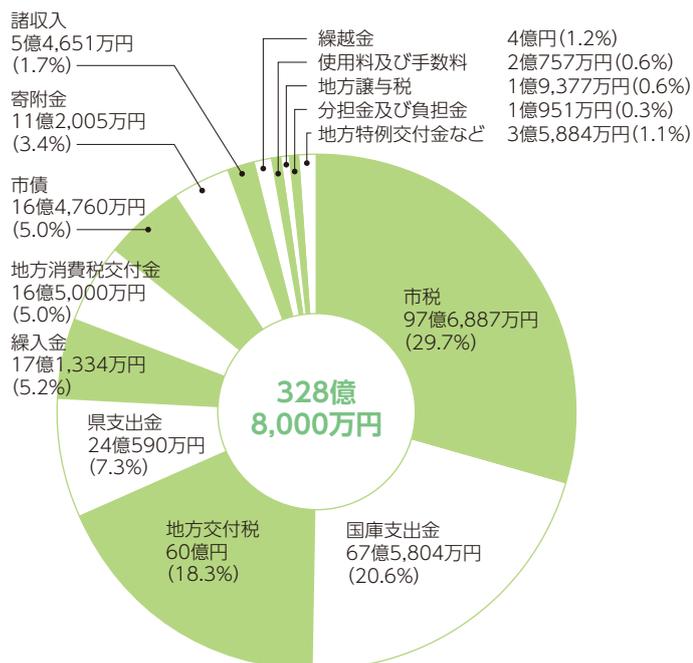
訪問介護報酬の引下げ撤回と介護報酬引上げの再設定を早急に行うことを国に求める意見書提出に関する請願

国の指針も出ている中で、その動向と方向性を見たうえで判断したいとの意見が多数あり、継続審査となりました。

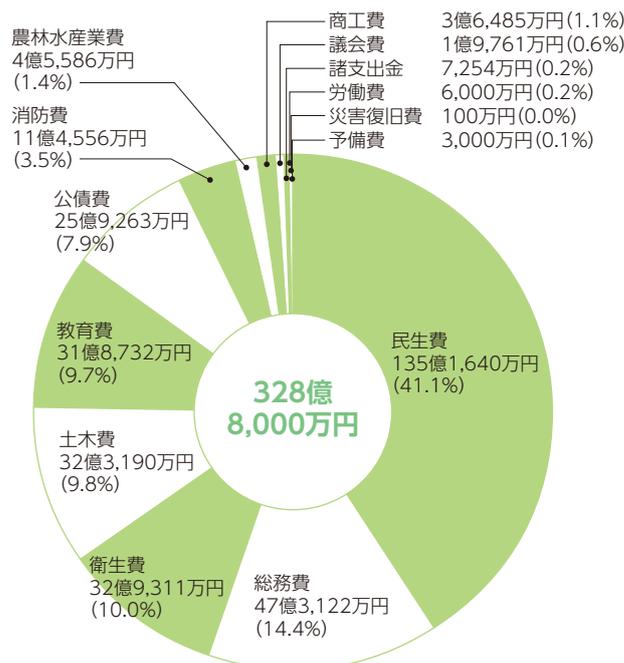
一般会計当初予算 過去最大328億8千万円

令和7年度一般会計当初予算は、委員18人による予算審査特別委員会（委員長 赤澤 厚 議員、副委員長 滝川 美幸 議員）を設置し、3月10日から17日までの延べ5日間審査を行い、討論の末、可決となりました。

歳入



歳出



議会からの要望に対する予算計上

総務教育常任委員会 / 市単独学校教育支援員等配置事業

学校教育支援員及び学力向上支援スタッフ等の適切な配置や、勤務条件として給与面だけでなく夏休みも勤務できるようにするなど正規の職員に近づけていくような環境整備を行うなど、教職員の負担軽減と子どもたちの学習環境充実につなげるため、学校教育支援員等経費として2億5,491万4千円が計上されました。

厚生環境常任委員会 / 甲斐市版ネウボラ推進事業

ネウボラ推進事業として、きめ細かく切れ目のない子育て支援の更なる充実を図るため、母親の心身の疲労回復、孤立感の解消に向け、日帰り型の産後ケア事業を拡充します。また、新たに歯周病菌の影響による早産等のリスクの低減を図るため、妊婦歯科健康診査事業を実施します。ネウボラ推進事業費として2,360万2千円が計上されました。

建設経済常任委員会 / 道水路の維持改修事業

ゲリラ豪雨などによる浸水被害などを防ぐため、道水路の改修・補修工事費として、道路維持改良事業費に5,517万円、河川維持改修事業費に2,250万円計上されました。また、道路冠水や内水浸水などの抜本的な解消に向けては、雨水対策事業を加えた新たな「甲斐市公共下水道雨水全体計画」の策定を進めています。

どう使う？新年度予算

学校給食の独自支援

物価高騰により経済的不安を抱える子育て世帯の中でも、特に経済的負担が大きい多子世帯に対し、市が独自に費用を負担することで、学校給食費、保育施設等副食費、また、児童発達支援等施設通所者昼食費を第2子半額、第3子以降無償化します。

赤坂台総合公園の防災機能拡充

防災機能拡充にかかる公園整備は、災害時に避難場所として活用可能な「防災機能を有する公園」となるよう駐車場の新設に取り組んでいきます。

公共交通の整備

- ・新たな公共交通システムの導入に向けた自動運転EVバスの実証運行に取り組みます。
- ・高齢者福祉タクシー・バス利用料助成事業として、利用者の実情に合わせ、対象となる要件を緩和します。

産業サポート体制の充実

若者の就労初期における経済的負担を軽減することで、地域企業へのUターン就職やIターン就職を促すとともに転出抑制と定住促進に繋げるため、甲斐市若者定住促進奨学金返還支援事業補助金を創設しました。

脱炭素先行地域事業

脱炭素先行地域の事業として、引き続き公共施設、民間施設への脱炭素化設備の導入を進めるとともに、全国自治体の脱炭素化モデルとなるよう各種事業の遂行に注力していきます。



一般会計当初予算について討論がありました

賛成討論

滝川 美幸 議員

本予算は、長引く物価高、各事業の労務費及び、人件費等の上昇による影響が大きい状況でありながらも、計画初年度となる「第3次 甲斐市総合計画」や「甲斐市 デジタル田園都市構想 総合戦略」を中心とした、政策課題の着実な推進に向けた、積極的・効率的な予算編成が行われたものと判断する。

総じて、令和7年度の一般会計当初予算は、本市が将来像として掲げる「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、様々な行政課題に対応する中で、自主財源の確保に積極的に取り組む姿勢が見られ、財政基盤の安定も見据えた、創意工夫のある予算であると判断できる。

今後も引き続き、社会環境の変化や多様化する市民ニーズを的確に捉え、市民の皆様が、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進するとともに、より一層、効率的・効果的な行財政運営に努めるよう期待して、賛成討論とする。

反対討論

谷口 和男 議員

令和7年度予算案は328億8,000万円と大型予算だが、令和5年度予算と比べ8.3%のマイナス予算である。増税とインフレにより税収は増えている。子育て支援・社会保障を充実すべきだ。近隣の同規模他市が学校給食費を無償化するなか、甲斐市は部分的だ。全児童生徒対象に無償化すべきだ。

仮称篠原地区公園の学習体験施設の建設費が予算計上された。昨年20億円以内としたものが、約27億円になった。建設費の坪単価は約300万円だ。豪華すぎるトイレより実用的な物にすべきだ。

玉幡公園総合屋内プールの天井板落下事故から1年以上経過した。通常の修繕をすれば1年で再開できるが、修理実施設計案さえ出来ていない、維持費のみの計上だ。時間と税金の無駄遣いだ。同施設は、維持管理を考慮していない。湿度の高い環境下で、高さ9mの木製天井など、防水塗料も塗布できない。以上反対討論とする。

一般質問

こ こ が 聞 き た い

第1回定例会では、11人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、次のとおりです。

なお、市議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードは  [こちら](#)

甲斐市議会 議会中継

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。

一般質問とは、行政全般にわたり、議員個人が執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め、または、疑問を質すことをいいます。



敷島台旧污水处理施設跡地の今後の活用は

藤原正夫

Q 敷島台地区の旧污水处理施設跡地の将来的な活用計画は。

A 施設の老朽化に伴い、令和2年度より、下水道に切り替えている。施設撤去後に係る課題があり、現在は施設を残し維持管理を行っている。活用については、過去に地元自治会や市議会議員より意見をいただいている。

Q 自治会等の要望はまとまっているが、市の考えている活用方法は。

A 地元自治会などから、跡地活用について意見をいただいているので、今後も、課題等の整理を進める中で、市における跡地活用について、検討を進めていく。

Q 災害時の給水方法と、自宅避難者への飲料水の供給方法は。

A 災害発生時、各家庭への水道水の供給が停止した場合、「甲斐市地域防災計画」に定めた給水計画により、市内の避難所に給水所を設置し、飲料水の供給を行う。なお、自宅避難者への供給については、各住宅への水道施設が復旧するまでは、避難所の給水所で供給を行う。

Q 迅速に給水対応を行うために給水車の購入予定はあるのか。

A 災害発生時の給水対応の更なる迅速化を図るため、令和7年度に給水ポンプ車1台の購入を予定している。



その他質問事項

- 市内の液状化地域の現状と対策
- 釜無川流域下水道施設が休止した場合の対応
- 竜王駅北口開発
- 公共工事の検査



千載一遇の好機

加藤敬徳

Q ミュージアム周辺環境の整備について、赤坂の桜並木は名所だが、桜の根によって歩道は凹凸ができ歩くに危険との住民の声がある。歩道整備の必要性を伺う。

A 桜の成長に伴い地中の根張りが進み、歩道に凹凸が生じている状況なので、再整備の必要性は認識をしている。これらの解消には、桜の伐根や歩道の再整備等が必要だが、一方で桜の保存や保護を求める声もあるので、開業に伴う周辺環境の整備やアクセス道路等の改善などの必要性も含め、整備手法を検討していく。

Q ミュージアムの来場者が赤坂以外のエリアにも足を運んでもらえるよう、北部環状道路で予定の牛匂ICや、昇仙峡からの観光ラインとなる茅ヶ岳東部広域農道周囲のエリアなど、魅力ある観光コンテンツを開発すべきと考えるが、見解は。

A 今後、新山梨環状道路北部区間及び茅ヶ岳東部広域農道の開通後には、策定を進めている第3次甲斐市総合計画及び重点戦略の関係人口の創出・拡大の取り組みとして、クラインガルテンやワイナリー、及び昇仙峡などとサンリオミュージアムを絡めた観光ルートの作成などについても検討し、北部地域も含めた市内観光の活性化と賑わいの創出につなげていきたい。



その他質問事項

- 体育館エアコン設置
- 人口ビジョンと若者層定着のために





物価高騰対策

若尾 彰子

Q 物価高騰対策事業は各所管課から提案を受け、採用したと聞いている。どのような提案があったか。

A 実施予定事業の他に医療機関を支援する医療機関等エネルギー価格等高騰対策事業と事業者の経営安定化を図るため事業者支援金給付事業の提案があった。

Q 来年度プレミアム付きデジタル商品券が発行される。過去4回紙の商品券事業を行ったが、デジタル商品券事業の効果分析はどのように行なっていくか。

A 交付金は生活者や事業者の支援と共にデジタル化促進が目的である。事業終了後にはデジタル決済が可能な店舗、利用者の増加率、年代や業種別区分などを確認し、今後のデジタル化促進事業の参考にし、経済対策における市民や事業者に対する支援の取り組みに活かしていく。

Q 主たる収入源が公定価格により固定されている医療介護福祉分野への物価高騰対策が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A これらの分野は物価上昇や経済環境の変化に対して、脆弱性を抱えていることが懸念される。本市としてもこれらの分野に対する適切な対策を講じる必要があるが、持続可能なサービスを確保するため市だけでなく国や他の自治体とも連携しながら取り組んでいく必要がある。



その他質問事項

- 人口減少対策
- 空き家対策
- スポーツ環境づくり



災害時の対策について伺う

山本 英

Q 勸進橋の現時点での復旧対応について。

A 昨年8月の豪雨で被災した「勸進橋」につきましては現在までに、被害にあった橋の上部にあたる桁の撤去を終えております。また、新たな橋の架け替えは、先般、国の災害査定が終わり、今後、令和7年度中の完成に向け工事を進めて参ります。

Q 市内の主要水路において、内水氾濫の危険性がある箇所、また、その調査状況について伺う。

A バックウォーター現象により内水氾濫が発生した箇所は、他に確認されていないことから、今回被災した箇所が今後同規模の雨量があった場合に、内水氾濫が危惧される箇所であると考えております。市内の一級河川を中心に順次確認及び点検を行って参ります。

Q 下今井地区への企業誘致に係る豪雨対策について伺う。

A 下今井地区の工業団地における豪雨被害につきまして

は、庁内関係部局で連携して対策を進めているところであり、また、本市の対策といたしましては、現在進めております工業団地の拡張事業に併せて、防沢川以外の浸水原因の調査と既存の工業団地及び拡張事業区域の浸水災害の低減に繋がる雨水対策の検討を行い、設計に反映させる計画であります。



その他質問事項

■ 録画映像のQRコードはこちら▶



物価高騰への市の対応策について

依田 那津希 **Q** 一般家庭に対する軽減措置発行予定のプレミアム商品券について。

A プレミアム率30%のデジタル商品券を10万口、7月1日～12月25日までの半年間使用可能。対象はスマートフォンによるデジタル商品券の購入申し込みが出来る者とする。

Q 学校給食において、物価高騰以前とメニュー内容に変化があるか伺う。

A 栄養バランスを保ちつつ、既製品を手作りへ変更するなどし安定供給が見込める食材を多めに、適切な栄養価を維持する工夫をしている。

Q 地域と学校の連携について、現在の取り組みを伺う。

A 子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、地域でどのような子供を育てるのかというビジョンを学校と地域と保護者と問題共有をするため令和6年度から市内の小中学校に学校運営協議会制度を導入した。

Q 学校運営協議会制度の周知、参画方法について。

A 周知については学校だよりやホームページ等に活動内容を掲載するなどしている。また、もともと学校独自で活動してきた既存組織の方々などの経験を活かし、幅広い人材の活用で学校の特色を生かした運営を目指していく。

コミュニティ・スクールとなることで…



その他質問事項

■ 録画映像のQRコードはこちら▶





“やはいぬ”君について

Q やはいぬ君の年間の出勤回数について。

A 直近3年間の出勤回数は、令和4年度は70回、令和5年度は79回、令和6年度は81回の出勤となっております。

Q キャラクターグッズの内容について。

A カーステッカーやキーホルダー、文房具セット、ピンバッジ、タオルやマグカップなどがあり、順次内容を更新しているところであります。今年度では、やはいぬ君の新たなグッズとして、ゴム印や置き時計、掛け時計、アクリルスタンドの販売を開始しております。

Q 今後の新たな取り組みについて。

A 今後、やはいぬ君を用いたスマートフォンアプリの開発やシティブロモーション事業での活用を検討し、甲斐市及び、やはいぬ君の認知度向上を目指して参ります。また、クラウドファンディングを活用し、やはいぬ君の様々な活動の財源の確保を図って参りたいと考えております。



その他質問事項

録画映像のQRコードはこちら▶



赤坂台地周辺 再開発計画の策定は

Q サンリオと連携した赤坂台地周辺地域の再開発計画を策定してはいかがか。

A サンリオミュージアム予定地周辺は、近年、宅地化が進み、今後、周辺地域の人口増加とともに集客による関係人口の増加が見込まれるものと考えている。サンリオ社と連携した再開発計画については、市街地の進展状況や農地保全とのバランスなどを考慮しながら、調査・研究していく。

Q サンリオの進出に伴い、観光施策を早期に策定すべきではないか。

A 現在策定中の「第3次甲斐市総合計画」の重点戦略において、関係人口の創出・拡大を目指しており、クラインガルテンの活用やワイナリーを中心とする観光・交流産業の活性化を図るとともに、当該市有地を有



効活用し、赤坂台総合公園等を含めた周辺整備を検討していく。

Q サンリオの直売所や市特産物販売促進を図る公民連携による施設整備を提案するが、市の考えは。

A 公民連携による施設整備については、今後、既存施設の利用や竜王駅北口開発の検討も考慮する中で、関係機関等とも連携し、調査・研究していく。

その他質問事項

- 第2期竜王駅周辺整備事業
- 甲斐市北部地域の土地利用
- やまなし県央連携中枢都市圏の観光振興計画
- 甲斐市観光協会の設置を検討しては



クラウドファンディング について

Q 6事業の目標と結果について伺う。

A 概に終了している4事業につきまして、一つ目として、「子どもの支援事業」は、目標金額740万円に対し、寄付額は1,009万1千円、2つ目は、郷土の誇る大学者、山県大士の功績を次世代に伝えることを目的に実施した「大士学問祭に係わる観光イベント事業」は、目標額の300万円に対し、寄付額237万4千円、3つ目は、甲斐梅の里クロスカントリー大会事業は、目標額800万円に対し、寄付額は1,432万7千円、4つ目は、猫の望まない、繁殖を防ぐための「猫不妊・去勢助成事業」は、目標額270万円に対し、寄付額77万5千4円でありました。次に現在募集中の2事業につきましては、1つ目の「(仮称)篠原地区公園整備事業」は、目標額6,000万円に対し、寄付額は2月25日現在で、8,880万1千円となっており、2つ目は350本のソメイヨシノの咲き誇るドラゴンパークでの桜まつりを、地域の誇りとして次世代につなぐことを目的に実施した「甲斐市サクラに係わる観光イベント事業」は、目標金額1,620万円に対し、2月25日現在で、1,762万5千2百円となっております。



その他質問事項

■ 下水道について





本市のランドマークと観光ビジョンについて

Q サンリオ誘致・開業のインバウンド対策について。

A サンリオ社の進出により、ハローキティをテーマにした観光資源の整備、インバウンド向けのプロモーション活動や多言語対応などの対策が重要である。日本の魅力を世界に発信できるように課題対策に努めていく。

Q やはたいぬ君とサンリオとのコラボの提案について。

A 本市の知名度向上や観光振興及び地域振興にもつながることからサンリオ及び観光関係団体等と協議していきたい。

Q 本市の都市公園等にネーミングライツの導入について。

A 公共施設全体として導入から望ましいと考える。導入手法について調査研究していく。

Q 山縣神社、山県大式生誕300年祭り等の計画状況について。

A 歴史文化講座等の計画や大式学問祭の早期からの実行委員会や地元関係者等と内容協議を開始し取り組む。

Q サンリオ開業と山県大式生誕300年、両記念コラボイベントの計画について。

A サンリオ社や関係者と協議をしていきたい。



その他質問事項

録画映像のQRコードはこちら▶



真のカーボンニュートラルのために

Q 国連は世界全体で温室効果ガスの排出量を2035年までに19年比60%削減が必要としたが、日本は実質

53%にとどまっており、国際社会から批判が起きている。山梨県のCO2排出量は692万t(2021年)で国の中期目標408万tにはとうてい届かない状況にある。甲斐市の排出量は何万tか伺う。

A 本市の19年度の排出量は33.7万tと推計されるが、現時点では本市の計画は30年までなので35年の削減目標は未定。

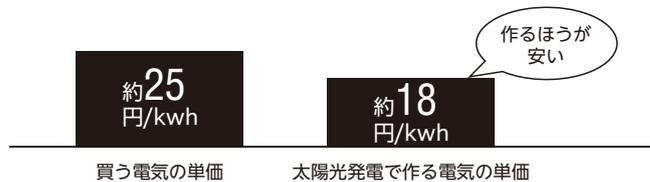
Q 脱炭素先行地域の戸数と計画通り進行した場合のCO2の削減はどのくらいか伺う。

A 1510戸で年686tの削減となる。

Q 脱炭素先行地域のモデル的な存在である小田原市では、30年に太陽光発電導入量5倍化を目指している。最近の太陽光発電効率の向上は目覚ましく、資源エネ

ルギー庁資料によると、東電からの売電価格25円/kwhに対し、太陽光単価は18円/kwhであり、各世帯への経済支援にもなる。省エネ・再エネは未来への投資となる。支援(補助等)の価値はあるが、市の考えを伺う。

A 導入支援は、脱炭素先行地域内の取組を進める中で、実績の検証を基に全市的対応を検討していく。



その他質問事項

- 原発廃炉は世界平均28年。廃炉に向かうべき
- 生活困窮世帯への物価高騰対策を
- 母子世帯への市独自の助成制度創設を
- 公用車は費用対効果を考慮した有効利用を



かまなしの湯は取り壊されるのか

Q かまなしの湯と玉幡公園総合屋内プールとの統廃合案が進められている。総務教育常任委員会での一部議員からの提案というが、なぜ、地元でもない議員の案を優先するのか。

A 天井板破損事故のあった「玉幡公園総合屋内プール施設整備プロジェクト」で検討をすすめてきた。

Q かまなしの湯の全面改修費用は1億8400万円だが、設備除却と玉幡公園に温泉を掘削すると2億2千万円かかる。全面改修すべきだ。

A 現在策定中の計画では、温泉の掘削は考えず、温浴機能の追加を検討している。

Q 昨年12月議会では、玉幡のプールは水から沸かして温水にしているので経済的ではない、との話だった。沸かし湯では、かまなしの湯以上に燃料を消費しないか。

A 施設の集約や複合化を進め、賑わいをつくり、燃料費も含め運営費を節減する。

Q かまなしの湯の利用者数が減少しているので廃止するというが、料金値上げ・コロナ禍・指定管理者契約止めによる営業日減少の影響ではないか。

A 令和5年度は300日の営業で、以前の7割にとどまっている。



その他質問事項

- 市民の暮らし応援の予算編成を
- Kai・遊・パーク整備に市民意見の反映を
- 浸水被害等にこまめな対応を





ふるさと納税の実績と 使途及び7年度予算

金丸 寛

Q 甲斐市から他市への納税額とその件数、及び市に及ぼす影響を伺う。

A 令和6年分は確定申告後に集計のため、令和5年分の他自治体への寄付額は、約4億円であり、人数は約5,000人であります。本市の個人住民税の減収分は約2億円となっておりますが、この減収分の75%は基準財政収入額の減少分として反映され、交付税措置によって補填される仕組みになっております。

Q 交付税措置で75%（1億5000万円）が補填されるというが、残り5,000万円の処置を伺う。

A 基準財政収入額は、各地方団体の財政力を合理的に決定するために、地方交付税法の規定に算定した額とされており、地方税収等については、75%が基準財政収入額に算入され、25%は留保財源となる仕組みであります。従って、ふるさと納税における個人市民税の減収分も75%が「交付税措置されませんが、収保財源の25%は税収減となるため、ふるさと寄付金などの自主財源により補填することとなります。



その他質問事項

- 令和6年度のふるさと納税の実績（見通し）
- 必要経費の内訳と、市が使える額
- 土地改良区に関する予算の確保はされたか
- 甲斐市における、地方自治の成熟度



機構改革に伴い委員会構成が変わります

令和7年4月より第3次甲斐市総合計画ほか、市長が未来への総仕上げとして掲げる5つの政策課題との整合を図り、今後も進展する少子高齢化と、人口減少とともに行政運営を担う職員数の減少下において、新たな行政課題や多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応可能となる効率的な行政運営として、組織機構の見直しを行いました。

●総務常任委員会（市の総合的な政策、財政、選挙、防災等に関すること）

防災危機管理課、

市長公室（新） 秘書課、政策戦略課（新）

総務部 総務課、人事課、アセットマネジメント推進課（新）、敷島支所市民地域課、双葉支所市民地域課

財政部 財政課、税務課、収納課

会計課

議会事務局（監査委員事務局）

●厚生文教常任委員会（社会福祉政策、高齢者、子育て支援、保険、教育等に関すること）

市民生活部 市民戸籍課、保険課、市民協働推進課（新）、スポーツ振興課

福祉部 福祉課、障がい者支援課、長寿推進課

こども子育て健康部 子育て支援課、健康増進課

教育部 教育総務課、学校教育課、生涯学習文化課（図書館）

●まちづくり環境常任委員会（道路、河川、公園、水道、環境、農林業等に関すること）

環境産業部 脱炭素社会推進課、環境森林課（新）、産業創造課（新）、農政課（新）（農業委員会事務局）

まちづくり振興部 建設課、都市計画課、建築住宅課（新）

公営企業部 上下水道業務課、上下水道工務課

委員会行政視察研修報告

・脱炭素社会推進事業特別委員会

日程 令和7年1月17日 視察先 神奈川県小田原市

内容 脱炭素先行地域について

脱炭素社会推進事業特別委員会は、甲斐市が脱炭素先行地域に山梨県で初めて選定されたことから発足し、先進事例の必要性を感じ、脱炭素先行地域の先進地である小田原市を視察しました。小田原市の脱炭素先行地域づくり事業は、重点対策加速化事業等により、太陽光設置支援を行い、その余剰再エネを地産再エネの取引プラットフォームを通じて先行地域内に供給するいわば市民発電所のモデルとなっていました、また、ZEHやEV電気自動車などの購入費用の一部助成を継続的に行ってきたことや、官民連携組織「おだわらゼロカーボン推進会議」があり、ワークショップやゼロカーボンフェアを開催するなど脱炭素の普及啓発により、脱炭素への認知が深まったり、意識が少しずつ醸成されていました。本市においてもEVカーシェアなど導入に向けて非常に実のある研修となりました。



特集『輝く仲間たち』への掲載記事募集中

市内で活動している方（団体）であれば、年齢・性別・職種等を問わず、活動内容を掲載することが可能です。

詳しくは、市議会ホームページまたは、議会事務局まで問い合わせください。

甲斐市議会事務局 議事運営係
TEL 055 (278) 1673



甲斐市議会だより No.82

・ 議会運営委員会

日 程 令和7年1月23日、24日 **視察先** 三重県いなべ市

内 容 議会改革について（情報発信）

本委員会では、議会改革の先進である三重県いなべ市議会事務局の視察を行い、議会として、毎年、議員活動を振り返り、課題や成果を整理し、以降の議会活動を改善すべく、「議会検証評価」の導入、議会の意義の共有と明確、また、様々な議会の取り組みを「政策サイクル」として一体化、活動の強化を図るなど議員全員が同じ目的のなか活動しておりました。また、庁舎周りには森を活用し、その中にパン屋、土産、レストランなどの多くの販売ブースがあり、さらに、近隣には、市営温泉を改修し、サウナやカフェ、食堂、さらにはコンテナタイプの宿泊施設まである複合施設「阿下喜ベース」もあり、市役所周辺には多くの市民が集まり、皆さんが楽しそうに利用しており、今回の視察研修を今後の議会運営及び市事業に生かしていきます。



・ 議会広報常任委員会

日 程 令和7年2月4日、5日 **視察先** 東京都狛江市、神奈川県開成町

内 容 1 議会だよりの編集等について
2 議会独自に作成したウェブサイト、Youtube を活用した情報発信

東京都狛江市では、令和3年にリニューアルし、市の広報と差別化を図り、わかりやすく伝わりやすい広報を作成していました。市民と議会との距離が縮まるように、議員自ら街頭でインタビューを行ったり、議会モニターやウェブアンケート調査なども行っていました。

開成町では、とても議会改革・広報改革に取り組んでおり、全国町村議会特別表彰や第18回マニフェスト大賞 議会改革賞を受賞するなど様々な成果を上げています。ウェブサイトはとてもインパクトのあるトップページムービーから日本一短い動画と称して、一般質問概要動画、インターネット録画配信、終了後インタビューと非常にわかりやすく、身近に感じられる取り組みを行っていました。

どちらの自治体も議員自ら動き、発信をすることで開かれた議会の実現につながっていると感じました。



議会を傍聴してみませんか！

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけで。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

令和7年 第2回定例会 の日程（予定）

※日程等に変更がある場合
もあります。

※ 傍聴に際し、手話通訳が
必要な方は、障がい者支
援課へお申込みください。

TEL.055-267-7287
FAX.055-276-2113
メール: kai-shuwa@i.softbank.jp

日	月	火	水	木	金	土
6/15	16	17	18	19 本会議 (議案上程等、 一般質問) 10:00～	20 本会議 (一般質問) 10:00～	21
22	23 本会議 (一般質問) 10:00～	24 厚生文教 常任委員会 9:30～ まちづくり環境 常任委員会 13:30～	25 総務 常任委員会 9:30～	26 委員会 予備日	27	28
29	30 本会議(採決) 10:00～	7/1	2	3	4	5

仕事承り中

主な仕事内容

- ◆草取り、草刈り、植木の手入れ
- ◆襖・障子・網戸の張り替え
- ◆家事サービス(洗濯、掃除、食事作り、買い物)

会員募集中

健康で働く意欲のある、
60歳以上の甲斐市、
中央市、昭和町内在住者

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター
〒400-0115
山梨県甲斐市篠原2644-3 ☎055-279-6626
ホームページ URL <https://webc.sjc.ne.jp/kyochu/>

仕事のご依頼はお気軽に
お電話でご相談ください

有料広告

人と人の中に生まれる 恩恵と感謝のサービス

プリンティング総合事業



PRINTING

印刷



DESIGN

企画・グラフィックデザイン



MULTIMEDIA

マルチメディア企画



PROMOTION

販促ツール



LOGISTICS

ロジスティクス



SIGNBOARD

看板・巻紙



TAKEMARU
株式会社たけまる

<https://takemaru.net>
〒400-0105 山梨県甲斐市下今井3539
TEL 0551-28-4655 FAX 0551-28-4590



有料広告募集中。

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、
市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)

議会広報常任委員会

委員長 保坂 康	委員 加藤 敬徳
副委員長 安倍 健治	委員 谷口 和男
委員 若尾 彰子	委員 小澤 重則

甲斐市議会だよりの有料広告に
関するQRコードはこちら

